



和佐だより 5月号

和歌山市立和佐小学校

令和6年(2024年) 4月19日発行

(学校長) 結城 将光

安心できる教室で！ みんなで伸びよう！！

※蒔田晋治氏の『教室はまちがうところだ』より引用

教室はまちがうところだ
みんなどしどし手を上げて
まちがった意見を 言おうじゃないか
まちがった答えを 言おうじゃないか

まちがうことを おそれちゃいけない
まちがったものを わらっちゃいけない
まちがった意見を まちがった答えを
ああじゃあないか こうじゃあないかと
みんなで出しあい 言い合うなかで
ほんとのものを見つけていくのだ
そうしてみんなで 伸びていくのだ

いつも正しくまちがいのない
答えをしなくちゃならないと思って
そういうとこどと思っているから
まちがうことがこわくてこわくて
手も上げないで小さくなって
黙りこくって時間がすぎる

しかたがないから先生だけが
勝手にしゃべって生徒はうわのそら
それじゃあちっとも伸びてはいけない

神様でさえまちがう世のなか
ましてこれから人間になろうと
している僕らがまちがったって
なにがおかしいあたりまえじゃないか

うつむきうつむき
そうっと上げた手 はじめて上げた手
先生がさした
どきりと胸が大きく鳴って
どぎどぎと体が燃えて
立ったとたんに忘れてしまった
なんだかぼそぼそしゃべったけれども
なにを言ったか ちんぷんかんぷん
私はことりと座ってしまった

体がすうっと涼しくなって
ああ言やあよかった こう言やあよかった

あとでいいこと浮かんでくるのに
それでいいのだ いくどもいくども
おなじことをくりかえすうちに
それからだんだんどきりがやんで
言いたいことが言えてくるのだ
はじめからうまいこと言えるはずないんだ
はじめから答えが当たるはずないんだ

なんどもなんども言ってるうちに
まちがううちに
言いたいことの半分くらいは
どうやらこうやら言えてくるのだ
そうしてたまには答えも当たる

まちがいだらけの僕らの教室
おそれちゃいけないワラっちゃいけない
安心して手を上げろ
安心してまちがえや
まちがったってワラったり
ばかにしたりおこったり
そんなものはおりゃあせん

まちがったって誰かがよ
なおしてくれるし教えてくれる
困ったときには先生が
ない知恵ほべて教えるで
そんな教室作ろうやあ

おまえへんだと言われたって
あんたちがうと言われたって
そう思うだからしょうがない
だれかがかりにもワラったら
まちがうことがなせわるい
まちがってることわかればよ
人が言おうが言うまいが
おらあ自分であらためる
わからなけりゃあそのかわり
誰が言おうとこずこうと
おらあ根性曲げねえだ

そんな教室作ろうやあ



これは、元教師で、絵本作家である蒔田晋治氏の『教室はまちがうところだ』という詩です。もうご存じの方も多いとは思いますが、私自身も本当にその通りだと思う詩です。

先日の始業式にも、昨年度と同じ「進んで…しよう」の3つの願いを子どもたちにしました。①自分を伸ばす②学級・学校のために動く③感謝やあいさつを！の3点です。そのお話の中で、「失敗を恐れるな！」の話も、大谷翔平選手の考え方を例にして子どもたちに話しました。どれだけ分かってもらえたかわかりませんが、「失敗の中に学ぶべきことがある」ということを説いておきました。

4月号の学校だよりにも記しましたが、和佐の児童には、自信の無さ・粘り強さ・自己肯定感の低さなどの特徴があります。これは本校の子どもに限ったことではないと思うのですが、これを高めることが学力向上にも繋がると考えております。

では、これを高めるためにはどうするべきか。これは、子ども自身に活動させる機会を与えるしかありません。

そのためには、誰もが「安心できる教室環境」が必須であると考えています。上の蒔田氏の詩にあるように、笑ったり馬鹿にしたりされない「安心できる教室」であれば、本人の活動が抑えられることなく、しかも自身の間違い・失敗を恐れず、その経験を生かし次に繋げる材料にしていけると考えています。

新年度に入り、子ども達は新しいクラスに新しい担任と、緊張感と不安が重なる時期ですが、そういう時こそ変化もある時です。どの子も成長したいと思っています。教職員一同、子どもの成長・変化を後押しできる教室環境の確立に尽力していきますので、どうぞ各クラスの学級経営等にご理解とご協力をいただければ幸いです。どうぞよろしくお願い致します。





の 予 定



日	曜日	行	事	等
1	水	いじめなくそらデー・遠足予備日		
2	木	心電図 (1年生)		
3	金	憲法記念日		
4	土	みどりの日		
5	日	こどもの日		
6	月	振替休日		
7	火	○家庭訪問① (千旦1, 2, 3・和佐中) ※13時下校		
8	水	○家庭訪問② (布施屋北) ※13時下校		
9	木	○家庭訪問③ (布施屋北・南, 和佐関戸) ※13時下校		
10	金	○家庭訪問④ (和佐関戸, 井ノ口, 下和佐, 祢宜) ・開校記念日 (124周年) ※13時下校		
11	土			
12	日			
13	月	生活リズム調べ (~17日)		
14	火	内科健診 (1・2・3年)		
15	水	クラブ		
16	木	検尿		
17	金	社会見学 (5年) ・職員登下校指導		
18	土	子どもセンターバレーボール教室		
19	日			
20	月	心電図欠席者		
21	火	内科健診 (4・5・6年) 心電図欠席者		
22	水			
23	木	歯科健診 (1・2年)		
24	金	交通安全教室 (1・3年)		
25	土			
26	日			
27	月			
28	火	眼科健診 (全校)		
29	水			
30	木	尿検査 (2次)		
31	金	尿検査 (2次予備)		
6月予定	3日 (月)	集金日		
	4日 (火)	授業参観 (5限)		
	6日 (木)	耳鼻科健診 (3・5年)		
	17日 (月)	メディアに関する安全教室 (2・4・6年)		

※子ども見守り隊の皆様や保護者の皆様には、児童の登下校の見守り活動等において、いつもお世話になりましてありがとうございます。今年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。



★★おススメのコーナー★★

最近、「しね」「ころす」「うざい」こんな言葉が何気なく発せられてしまうことが少なくないように感じます。ドラマやアニメでも耳をふさぎたくなるような言葉がいつも簡単に使われ子どもたちの耳に入り、「しね」「ころす」という言葉がどれだけ重い言葉なのか、わからなくなっている子が多いように思います。

それと同時に自分の感情をうまく言葉で表現できなかったり、語彙の少なさのあまり、相手に対して嫌だと感じた気持ちを「何が嫌だったのか」「なぜ嫌なのか」を相手に伝えるように伝えることができなかつたりということも・・・

そんな子どもたちに読んでもらいたいと思う本が「12歳までに知っておきたい 言い換え図鑑」(齊藤孝著 日本能率協会マネジメントセンター)です。

我慢ばかりもしんどいけれど、相手の言葉を悪いように解釈するのではなく、「こんな気持ちだったのかも」と、相手の立場に立って考える視点で大切ですね。

どんな言葉でも、解釈の仕方次第で良いほうにも悪いほうにも捉えることができると思うのです。

相手の言葉も行動も悪く捉えるのではなく、少しでも良い方に解釈できればより良い人間関係が築けるのではないのでしょうか。ぜひ、親子で読んでみてくださいね。

